

# 市議会だより

No.212

平成31年2月10日発行

編集／発行

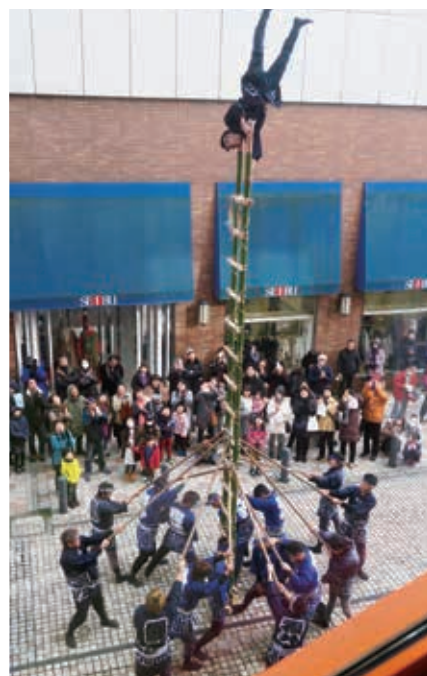
福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



1月12日、福井駅前で消防出初式が行われました。昨年は雪のため中止となりましたが、今年には市議会議員も多数参加のもと、盛大に開催されました。



12月

定例会（11月27日～12月18日）

市長提出の議案74件を審議しました

主な議案は5ページ  
審議結果は14～15ページ

請願1件、陳情1件を審議しました

審議結果は15ページ

議員提出議案1件を審議しました

議案は5ページ  
審議結果は15ページ

議員25人が一般質問を行いました

詳細は7～12ページ

## 特集記事

- 新幹線・並行在来線等  
対策特別委員会 …… 2ページ
- 委員会視察報告 …… 3ページ
- 子育て世代の声を  
聞いてみよう! …… 4ページ

# 特集

# 新幹線・並行在来線等 対策特別委員会

2023年春、北陸新幹線が金沢駅から敦賀駅まで延伸され、新幹線と並行する区間の在来線はJRから経営分離されます。経営分離されると、在来線は地元自治体などが出資する第三セクター会社が引き受け、列車運行を継続する場合はほとんどです。今後、北陸新幹線福井開業までに、

- (1) 並行在来線の運行計画や資金関係、利活用促進策
  - (2) えちぜん鉄道や福井鉄道を含めた今後の鉄道全体のあり方
  - (3) 北陸新幹線福井開業に伴う鉄道沿線の観光の振興
- などについて調査研究するため、昨年6月、本委員会を設置しました。



現在の福井駅

## このようなことを調査研究しています！

### 隣接するIRいしかわ鉄道との 相互乗り入れと乗継割引について

並行在来線については、石川県との県境駅を境に鉄道会社が変わることになりますが、利用者の乗り換えの手間をなくすため、両鉄道会社の車両が双方の敷地内を相互乗り入れすることが計画されています。また、県境駅をまたいで利用する場合、双方の鉄道会社の運賃がかかることとなりますが、経営分離前のJR料金より割高になるため、両県がそれぞれ設置した基金などを財源として乗継割引を導入し、利用者の費用負担の軽減を図ることが今後協議される予定です。



IRいしかわ鉄道

### 福井駅の高架下利活用について

福井駅は中心市街地内に位置している点を踏まえ、自動車の駐車や自転車の駐輪状況、ハピリンとアオッサを結ぶにぎわいの連続性、新幹線開業による観光客の増加を考慮し、駐車場、駐輪場、レンタサイクル、商業施設など駅周辺に必要な機能について協議されています。特に、北陸新幹線の開業により交流人口の増加が見込まれるため、様々な利用形態に対応可能な駐車場の配置について重点的に検討が進められています。

### 観光列車について

観光列車は、車両自体に独特の装飾を施すなど、通常の運行利用とは異なる特色をもたせ、県内外やインバウンドの観光需要を取り込んで利用促進を図る効果があります。観光に特化した列車の導入は、提供するサービス内容により経費が高額となるため、十分に検討した上で導入する必要があります。



←(内部)  
えちぜん鉄道の「きょうりゅう電車」  
↓(外観)



# 委員会視察報告

## 新幹線・並行在来線等対策特別委員会

日程：平成30年10月31日（水）

視察先：IRいしかわ鉄道株式会社（石川県金沢市）  
あいの風とやま鉄道株式会社（富山県富山市）  
「並行在来線の経営について」

2023年春の北陸新幹線福井開業に伴い、JR西日本から経営分離される県内並行在来線の調査研究をするため、石川県、富山県の先進地視察を行いました。

まず、金沢市の「IRいしかわ鉄道株式会社」を訪問し、七野社長より会社概要、設立の経緯、利用状況、経営収支等についてお話を伺いました。現在の17.8kmの営業区間では、一日の利用者が25,000人を超える黒字経営となっています。今後は金沢以西、福井県境まで50km延伸する準備が進められており、相互乗り入れや乗継割引なども検討される予定です。利活用促進の取り組みとして、各種イベント電車の運行やICカードの導入のほか、沿線住民や鉄道ファンとの相互コミュニケーションを目的としたサポートクラブ「いしてつ愛あーるクラブ」を運営し、マイルール意識を醸成しています。

次に、富山市の「あいの風とやま鉄道株式会社」を訪問し、日吉社長より設立の経緯や経営状況等についてお話を伺いました。営業区間は100kmで、IRいしかわ鉄道、えちごトキめき鉄道との相互直通運転を行い、速達性向上のため「あいの風ライナー」を運行しています。また、スイーツ電車、ビール電車、ワイン電車などのイベント電車に加え、2019年1月からは新たな観光客の取り込みを促進するため、観光列車「一万三千尺物語」を運行するとのこと。こうした企画や、新幹線から乗り継ぐ二次交通としての利用が伸びていることもあり、経営は健闘しているとのことですが、この先も堅調を維持できるのか課題はあります。

今後、並行在来線会社は沿線人口の減少や少子高齢化といった課題を抱え、通勤・通学客は先細りが予想されます。将来の値上げも想定され、利用者の減少を招きかねません。また、平成30年の大雪で除雪費用が膨らんだように想定外のリスクもあり、経営安定には利用促進策や観光需要の開拓などを欠かすことはできません。

本県も、2019年度には第3セクター会社設立の準備に入り経営計画が策定されますが、JRからの資産譲渡などの初期投資額は307億円、開業初年度の収支は8億2,000万円の赤字と想定されており、資産譲渡交渉や人材支援の要請、利活用促進のための沿線住民のマイルール意識の醸成、サポート団体の設立などの対策が急務であります。



あいの風とやま鉄道

## 予算特別委員会

日程：平成30年11月6日（火）～7日（水）

視察先：青森県青森市、秋田県秋田市「除雪対策について」

本市は、平成30年2月に積雪深147cmを記録する大雪に見舞われ、その除排雪費用に約50億円を要したことなどから、平成29年度の決算が赤字となりました。このことを踏まえ、除雪対策予算や予算執行管理の調査研究をするため、青森市、秋田市の先進地視察を行いました。

青森市では、5カ年の青森市雪対策基本計画を策定し、「共に支え合い 共に創り上げる 元気で住みよい雪国都市の構築」の基本理念のもと、安全で安心な道路環境の確保や豪雪災害時における対策の充実、パートナーシップによる雪処理の強化など、雪に強く住みよいまちづくりに取り組んでいます。

また、GPS端末を利用した除排雪車運行管理システムを平成18年度に導入し、ウェブサイト上で市民に公開して交通渋滞の緩和に役立てるとともに、委託料の算出や作業完了路線の把握時間の短縮など、除排雪作業管理の効率化に大きな効果を上げています。さらに、自治会等の皆さんが自主的に排雪するスクラム排雪助成制度や、ボランティアポイント制度活用による雪処理支援制度など学ぶべきものが大変多く、本市の除排雪施策にも生かせるのではないかと感じました。

秋田市では、道路パトロールをごみ収集業者に外部委託したり、タブレット端末を利用した動画中継を行うことにより、除排雪のタイムラグをなくすなどの取り組みを行っています。また、電話対応業務について、オンラインで結ばれたデータベースを使った除排雪コールセンターを導入し、体制が強化されたことにより迅速な対応が可能となったとのこと。市議会としても、このような新しい取り組みを参考としながら、行政と連携して今後の除排雪対策に取り組んでまいります。



青森県青森市

# 子育て世代の声を聞いてみよう!

子育てサークル **ふくまむ** × 市議会だより編集委員 **福井市議会議員**

- 「ふくまむ」……………福井のママが運営する子育てサークル。子育てを「ちょっと楽しく、をモットーに、毎月1~2回イベントを開催している。
- やました てるこ  
**山下 晃子さん**(写真左奥)……………妊娠中に夫の転勤とともに福井へ。子育て支援センターで知り合った吹奏楽経験者のママ友、たちと楽器演奏を楽しんでいる。娘が1人いる。
- おおよしはら ゆかり  
**大葎原 由佳里さん**(写真左中央)……………生まれも育ちもずっと福井市。ふくまむ立ち上げメンバー。娘が1人いる。
- むこうまか ゆき  
**向嶋 香由紀さん**(写真左手前)……………3人の息子がいる。現在は育休中。



- 水島議員** (写真右奥)……………高3の娘、高1の息子をもつ父。保、小、中のPTA会長等を歴任。
- 福野議員** (写真右中央)……………33歳。独身。婚活中。
- 中村議員** (写真右手前)……………4歳の娘、1歳の息子をもつ母。議員になってから2回出産を経験。
- 菅生議員** (撮影者)……………大1の娘、高2の息子をもつ父。県外出身。結婚前に福井市へ移住。

**保育料と3人目施策について**  
**向嶋** 来年度から保育料が無料になることが決まったと聞きました。私は3人を出産していて、3人目は保育料が無料になると思って喜んでいたので、これからは1人目も2人目も無料になるのですか。

**菅生** 3歳未満児の保育料については、住民税非課税世帯のみ無料になります。3歳以上は全員無料です。  
**向嶋** 3人目を産んだ家庭にはもっとメリットがあると思います。3人目を産むとすまいるFカードがもらえて、店舗で提示すると様々な

サービスを受けられるのですが、もっと充実してほしいと思います。  
**中村** そのカードは県が行っている施策ですが、どんな施策があれば、もっと多くの方が3人目を産みたくならないですか。  
**向嶋** 3人目を産んだ家庭には、お祝い金を出すなどはいかがでしょうか。

**中村** 本市では、現在3人目施策として、県と共同で行っている事業はありますが、市単独では行っていないので、何かしらのメリットがあるような施策は必要ですね。  
**向嶋** 3人目をもっと産みたくなるサービスを要望します!

## 育児休暇について

**水島** 子どもを預けて働きに出たい女性はどのくらいいるのでしょうか。  
**山下** 今は子どもとじっくり向き合う時間を大事にしたいと思う、仕事をしたいませんが、看護師などの資格を持っているので、いずれは働きたいですね。

**大葎原** 私も今は働いていませんが、美容師の資格を持っているので、将来的には子育てと両立できる働き方をしたいと考えています。それから、母親だけでなく父親も子どもともっと向き合う時間をとれるといいですね。男性の育児休暇取得を推進してほしいです。

**福野** 大企業は男性の育児休暇が取りやすいかもしれませんが、中小企業はなかなか難しいのではないかと思います。

**山下** 今後復職するとしたら、時間

に融通が利くパートタイムなどがいかなあと思っています。

**大葎原** 働かなくてもいろいろな生き方があっていいのではないかと思っています。福井では、女性は子育て、家事、仕事の三つをしないとけないという、無言の圧力、みたいなものがあるじゃないですか。今はふくまむの活動をしていて、自分が好きなことをしながら育児ができることに充実感があります。

**水島** 自分らしい子育て環境を選べることができるようにいいですね。

**菅生** 働きたい女性は、働きながら子育てができるといいですね。例えば企業内保育所が増えるといいと思います。

## 子育て支援センターと子どもの遊び場について

**山下** 子育て支援センターに子どもを連れて行ったときに、2歳になると子どもが走り回るので、小さい子と同じ部屋で遊ぶのは危ないのではないかとちょっと心配ですね。部屋がたくさんあったら、年齢ごとに分けてもらえるといいですね。

**中村** 支援センターの環境、職員さんの待遇なども考えていかないといけないですね。

**大葎原** 福井市内には室内の遊び場が少なく、雨の日の出かけ先には悩みます。天気が悪い日が多いので、そういった場所をもっとつくってほしい。例えば、加賀市のかげにここのパークはとていいですねー!

平成29年度 一般会計・特別会計決算総括表

(単位:円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
<b>一般会計</b>	114,137,567,098	113,416,513,650
国民健康保険	27,516,169,268	28,125,055,688
国民健康保険診療所	2,943,486	2,734,127
後期高齢者医療	3,228,244,836	3,224,311,981
介護保険	24,457,694,470	24,146,420,284
競輪	10,981,759,038	10,856,276,395
簡易水道	409,303,603	409,013,793
宅地造成	1,919,088,970	1,630,028,525
中央卸売市場	772,261,364	771,942,752
駐車場	136,800,556	136,757,859
集落排水	794,706,789	794,637,621
地域生活排水	174,584,929	172,589,419
福井駅周辺整備	1,291,140,005	1,291,066,419
<b>合計</b>	185,822,264,412	184,977,348,513

平成29年度 企業会計決算総括表

(単位:円)

会計	区分	収入	支出	収支
下水道事業	収益的収支	9,403,070,562	8,399,845,600	1,003,224,962
	資本的収支	6,203,959,920	8,763,879,308	△ 2,559,919,388
ガス事業	収益的収支	2,984,763,417	2,438,116,022	546,647,395
	資本的収支	183,596,485	1,091,375,498	△ 907,779,013
水道事業	収益的収支	4,751,915,995	4,091,146,400	660,769,595
	資本的収支	1,320,937,319	3,161,899,222	△ 1,840,961,903

- 収益的収支：(料金収入等)－(サービスの提供に必要な経費等)
- 資本的収支：(企業債等)－(建設改良費や企業債元金償還金等)
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額などで補てんしています。
- 消費税を含む金額です。

# 主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15ページに掲載しています。

## 各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた平成29年度各会計(一般・特別・企業)決算の認定等について審査するた

め、10月23日、24日の2日間、委員会を開催しました。

審査の結果、付託された各会計決算の認定等について、いずれも原案どおり可決及び認定しました。

(各会計決算は左記の表参照)

## 平成30年度補正予算

今回の補正予算は、ふるさと納税寄附額の増加が見込まれるため、寄附者への返礼品の送付等に要する事業費を増額する「ふるさと納税推進事業」、ごみ焼却炉の冷却設備内配管に老朽化が認められたため、取替工事を実施する「フリーセンター改修事業」、放課後留守家庭児童の受入態勢を整えるため、児童クラブの拡張を行う「児童クラブ設置事業」

## 条例

### ○中核市移行に伴う条例の制定及び一部改正について

平成31年4月1日に福井市が中核市に移行するのに伴い、必要となる条例を制定し、また、条例の一部改正を行うものです。

などに取り組むために、一般会計で2億8,711万円を増額するなど、補正後の予算額は全会計で2,056億7,042万8千円となります。

### 市会案(議員提出議案)

(該当する条例は14ページに掲載されている、第94号議案から第135号議案までの条例です。)

### ○福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

国家公務員及び福井県職員に対する給与改定に関する勧告の状況等を考慮し、議員の期末手当の額を改定するものです。

# 委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。(日程順に掲載)

## 決算特別委員会

### 《キャリア教育推進事業》

**問** この事業を行うことにより、どのような成果があったのか。

**答** これまでは学校が指導者等を探し交渉していたが、市がプログラムを作成しコーディネーターが入るようになったことから、平成29年度は148学級が利用した。

### 《災害復旧費》

**問** 不用額はどのような理由で生じるのか。

**答** 予算は概算で計上するが、詳細な設計をする中で経費が削減され、不用額が生じることがある。

**問** 不用額を次の復興、復旧の事業に充てることはできないのか。

**答** 新たな災害が発生し、さらなる対応が必要になったときは、先の不用額を含めた必要な経費を計上する。

《ガス事業会計》

**問** 自己資本金が143万7千円となっており、繰越利益剰余金の212万7千円等を足しても、資本金の規模として少ないのではないか。

**答** 平成25年度に策定した福井市ガス事業経営改善プランで、約30億円の累積赤字解消を目標とし、自己資本金を累積赤字に充当したため、資本金が少なくなっている。事業に必要な資金は料金収入等、現金として十分確保しており事業運営に支障はなく、昨年度末に累積赤字が解消したため、今後は徐々に資本金が増加していく。

新幹線・並行在来線等  
対策特別委員会

《並行在来線の利活用促進策》

**問** 現在は乗車駅で運行会社が異なる路線の切符が買えず、乗り換えが不便なので、利用者の利便性向上のため、

今後は運行会社を超えて切符が買えるなどの手段を講じるべきと考えるがどうか。

**答** 利用者の利便性を考えるのと重要なことと考えるので、福井県並行在来線対策協議会でも話をしていきたい。

《県の収支予測調査では、

**問** 福井県の並行在来線会社の収支について、開業時は8億2千万円の赤字、開業10年後は15億円の赤字とされている。石川・富山両県の並行在来線会社と比べ、赤字が大きいと見込まれていることについてどう考えているのか。

**答** 初期投資費用について、県は車両を全て新調したとして試算しているが、実際にはJRから車両や施設の譲渡を受けるなど、費用は圧縮されるものと考えている。しかし、最初からの黒字経営は大変難しいと考えていることから、できるだけ赤字を圧縮し、周辺自治体に過度な負担とならないよう協議会で求めていきたい。

《並行在来線と並行する地方鉄道》

《福井鉄道のレトロラムについて、運行が少なく効果が小さいのではないか。》

**答** 見たい、乗ってみたいという需要はあり、このよ

うな車両を利用して、沿線住民の方に自分たちの鉄道であると考えてもらうことが、今後の地域鉄道のあり方につながるかと考えている。

総務委員会

《フェニックス・プラザ及びフェニックス・プラザ自動車駐車場の指定管理者の指定》

**問** 大ホール年間稼働率の要求基準が53%以上となっているが、実績が53%を超えているのもう少し増やすべきではないか。

**答** 大ホール稼働率はその年によって変動が大きいため、平成28年度と29年度の平均値を要求基準とし、しばらくは状況を見守りたい。

**問** コンベンションの誘致に取り組みたいことだが、どのように進めようとしているのか。

**答** 関係団体と連携するほか、市体育館と一体的な活用をすることで、大きな大会等も誘致していきたい。

**要望** 北陸新幹線福井開業の時期に合わせて、しっかりと誘致活動をしてほしい。

教育民生委員会

《工事請負契約の締結について（順化小学校・順化公民館複合化及び長寿命化改修工事第1期）》

**問** 工事中は騒音や振動等が出るが、学校の授業があるときも工事を行うのか。

**答** 工事中は北校舎で授業を行うため、騒音等の影響は少ないが、大きな音が出るような工程は土曜日や放課後等に設定することも考えている。

**要望** 工期が決められていることとあるが、子どもたちの登下校時などには安全面に十分に配慮してほしい。

**問** これまで福井市民生委員推薦会で民生委員の審査が行われていたが、福井市社会福祉審議会の民生委員審査専門分科会が設置されることとの関係はどのようなものか。

**答** 福井市民生委員推薦会にこれまでどおり審査を依頼することには変わりなく、その後、民生委員審査専門分科会で意見を聴取することになる。

建設委員会

《福井市にぎわい交流施設の指定管理者の指定》

**問** ハピリンの屋根付き広場と多目的ホールの稼働率はどれくらいか。

**答** 屋根付き広場の稼働率は平成28年度が83%、29年度が84%で、また、多目的ホールの稼働率は28年度が67%、29年度が64%であり、土日祝日に限定すると、それぞれの稼働率は全て90%以上である。

**要望** 常に何かが行われているというイメージを持っていると、さらに稼働率を上げる積極的な取り組みを行ってほしい。

**問** 福井市美山森林温泉みらくる亭の指定管理者の指定》

**答** 今年度予定していた大規模改修が先送りされたため、指定管理者との間で修繕についての取り決めを設けるべきではないのか。

《指定管理者の決定後、協議をしながら基本協定書や業務仕様書の中に修繕に関する項目を設け、対応していく。》

**答** 指定管理者の決定後、協議をしながら基本協定書や業務仕様書の中に修繕に関する項目を設け、対応していく。

経済企業委員会

# 一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、12月3日から5日までの3日間、25人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、( )内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p><b>① 皆川 信正 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市長の政治姿勢について</li> <li>2 水道について</li> <li>3 J R北陸線利用促進について</li> </ol>	<p><b>② 加藤 貞信 (志政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 財政再建と平成31年度予算について</li> <li>2 北陸新幹線と並行在来線について</li> <li>3 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会について</li> </ol>	<p><b>③ 中村 綾菜 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子育て支援、母子支援について</li> <li>2 福井市財政再建計画と再編を検討する施設について</li> <li>3 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会が残した、スポーツ・ひと・まちの遺産について</li> </ol>
<p><b>④ 島川 由美子 (公明党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 産後うつ予防対策について</li> <li>2 新生児の聴覚スクリーニング検査について</li> <li>3 成年後見制度利用促進に向けた体制整備について</li> <li>4 SDGsの実現について</li> </ol>	<p><b>⑤ 奥島 光晴 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路の雪対策について</li> <li>2 ガス事業の民営化について</li> <li>3 ごみ処理対策について</li> </ol>	<p><b>⑥ 野嶋 祐記 (志政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井市国土強靱化地域計画について</li> <li>2 電車・バスの利用促進について</li> </ol>
<p><b>⑦ 片矢 修一 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障がい者福祉政策について</li> <li>2 除排雪対策について</li> <li>3 新ごみ処理施設整備基本計画(案)について</li> <li>4 コミュニティバス「すまいる」の見直しについて</li> </ol>	<p><b>⑧ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学力テストについて</li> <li>2 市税等の滞納者への対策について</li> <li>3 水道民営化問題と上下水道料金の値上げについて</li> <li>4 病児・病後児保育について</li> <li>5 市境を越えた交通ネットワークの形成について</li> </ol>	<p><b>⑨ 池上 優徳 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本市の保育行政について</li> <li>2 三里浜でのオリーブ栽培について</li> </ol>
<p><b>⑩ 八田 一以 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市税の増収策について</li> </ol>	<p><b>⑪ 下畑 健二 (公明党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 中核市移行について</li> <li>2 学校の危機管理マニュアルについて</li> <li>3 災害に強い施設園芸づくりについて</li> <li>4 関係人口拡大の取り組みについて</li> </ol>	<p><b>⑫ 藤田 諭 (志政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン(案)について</li> <li>2 里地里山を守る取り組みについて</li> </ol>
<p><b>⑬ 田中 義乃 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ものづくり企業の支援について</li> <li>2 障害者雇用水増し問題について</li> </ol>	<p><b>⑭ 西村 公子 (日本共産党議員団)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 消費税10%への増税の問題点と幼児教育無償化について</li> <li>2 子どもの貧困と格差解消のための取り組みについて</li> <li>3 障がい者雇用における不適切な求人について</li> <li>4 福井市財政再建計画について</li> </ol>	<p><b>⑮ 村田 耕一 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 外国人労働者の受け入れ拡大について</li> <li>2 中核市移行と連携中枢都市圏構想について</li> </ol>
<p><b>⑯ 水島 秀晃 (志政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 観光政策について</li> <li>2 家庭教育の取り組みについて</li> <li>3 学校規模適正化について</li> <li>4 文化会館整備事業について</li> </ol>	<p><b>⑰ 堀江 廣海 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食の産業化について</li> </ol>	<p><b>⑱ 福野 大輔 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本市の農業について</li> <li>2 タイヤチェーン装着の義務化について</li> </ol>
<p><b>⑲ 泉 和弥 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 働く場の創出について</li> <li>2 農産物のブランド化と需要を拡大することについて</li> <li>3 新ごみ処理施設整備基本計画(案)のパブリックコメントの実施について</li> <li>4 福井市新ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書について</li> </ol>	<p><b>⑳ 吉田 琴一 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 いじめ、不登校児童・生徒への対応について</li> <li>2 福井市道路除雪計画の見直しについて</li> <li>3 本市における外国人労働者の受け入れ状況について</li> </ol>	<p><b>㉑ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井市が先駆けて整備した公立小・中学校のエアコン設置費用について</li> <li>2 文部科学省が示す平成30年度ICT環境整備予算について</li> <li>3 グリフィス記念館の運営について</li> <li>4 福井市自然史博物館分館基本計画について</li> <li>5 セーレンプラネットの運営状況について</li> <li>6 福井県衛星プロジェクトや福井工業大学との連携によるセーレンプラネットでの宇宙映像投影の可能性について</li> <li>7 ドームシアター活用策として、全天候スクリーンを使ったeスポーツ大会やホロスコープでの星占い等の提案について</li> </ol>
<p><b>㉒ 後藤 裕幸 (志政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井国体終了後のスポーツ促進について</li> <li>2 豪雪を教訓とする今年の除雪対策について</li> <li>3 有害鳥獣の駆除について</li> <li>4 福井市財政再建計画について</li> <li>5 下水道の取り組みについて</li> </ol>	<p><b>㉓ 瀧波 滋 (志政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の安全対策について</li> <li>2 投票率を上げる取り組みについて</li> </ol>	<p><b>㉔ 近藤 實 (無所属 (青空の会))</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 セーレンプラネット、ハピリンの活性化について</li> <li>2 水道事業の3月検針分の売り上げ計上について</li> <li>3 ガス事業の譲渡について</li> <li>4 組織・人事について</li> <li>5 常勤の特別職職員の期末手当改定について</li> <li>6 職員の給与改定について</li> </ol>
<p><b>㉕ 伊藤 洋一 (志政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 広域交流人口政策と地域経済活性化について</li> </ol>		

一般質問要旨



みながわ のぶまさ  
**皆川 信正** 議員  
一真会

**本市の水道民営化の考えについて**

質問

水道民営化等を促す改正水道法が成立し、国は、市が施設を管理し経営を民営にすることや、自治体同士の水道事業の合併を進める等としている。命の根元である水は絶対、民営化すべきではないと考えるが市の見解は。

回答

水道事業は、安全で安心な水道水を安く安定的に提供することで、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与することを使命とし、市民生活には欠かせない、極めて公共性の高い事業である。将来にわたり安定した給水を継続するためには公営企業として経営していくことが望ましく、水道事業の民営化は考えていない。

水道事業の広域連携については、自治体ごとに料金や財政状況、施設整備の状況等が異なることから、現時点では考えていない。



かとう さだまさ  
**加藤 貞信** 議員  
志政会

**並行在来線について**

質問

北陸新幹線福井開業に伴い、JR北陸線がJR西日本から経営分離後の並行在来線利用促進策として、森田駅西側にパーク&ライド駐車場を整備してはどうか。

また、石川や富山では、JRの直営・委託の有人駅は経営分離後も並行在来線会社を引き継がれたが、本県はどのようなものか。

回答

パーク&ライド駐車場の整備は、並行在来線の利用促進策の一つとして有効と認識している。今後、並行在来線開業にあわせ、需要の見込みや設置場所も含めて検討する。

JRの直営・委託有人駅の経営分離後の引き継ぎについては、石川や富山の先行事例を踏まえながら、経営分離前と比べ利便性が損なわれないよう福井県並行在来線対策協議会で検討することとなっている。



なかむら あやな  
**中村 綾菜** 議員  
市民クラブ

**産後の母親支援について**

質問

出産後、予想外の心身の不調やパートナーとの関係の難しさに直面し、戸惑う女性が多い。77%が産後うつもしくは産後うつ一歩手前であることが、民間団体の調べで分かった。本市として、産後の母親支援についてどのようなことができるのか。

回答

産婦やその家族を対象に、妊産婦・新生児訪問事業や産後の母体ケアのミニ講座、育児や産後の健康に関する相談等を行っている。特に、心身のケアや育児支援が必要なハイリスク妊産婦に対しては、医療機関等と連携し、産後間もない時期から保健師や助産師による訪問等を行っている。また、産科医療機関等でのデイケアやショートステイ等、産後ケア事業も検討している。

今後産後の母親に対する教室等の開催を増やし、産後の母親支援の充実に努めていく。



しまかわ ゆみこ  
**島川 由美子** 議員  
公明党

**成年後見制度利用促進に向けた体制整備について**

質問

平成28年5月施行の成年後見制度の利用促進に関する法律において、各市町が整備すべき基本計画・中核機関・地域連携ネットワーク等については、利用者である認知症高齢者や障害者等の意思に基づいた支援が求められるが、どのように取り組むのか。

回答

平成34年度からの連携事業開始を目指し、来年度からふくい嶺北連携中枢都市圏への参加市町と協議を開始する予定。制度の啓発や利用支援、中核機関の一部の機能を共同で実施し、広域的なネットワークづくりを行う。

一方で、利用者本人の意思を尊重した制度利用につなげる取り組みは、各市町やさらに細かな単位での実施が望ましいと考える。

また、平成33年度には基本計画を策定できるよう、中核機関機能や地域連携ネットワークの具体化について、関係機関との協議を進める。



おくしま みつはる  
**奥島 光晴** 議員  
一真会

**道路の雪対策について**

質問

平成30年2月の147センチメートルの積雪は記憶に新しいが、市民の生命や財産、生活を守るため、全職員が一丸となり、除雪業者とともに全力で対応いただいたことに敬意と感謝の意を表したい。

前回の大雪の反省をふまえ、この冬の雪対策をどのように計画しているのか。

回答

早期除雪を目標とする重点除雪路線の追加など、路線の見直しを行ったほか、除雪が遅れている路線への対応策として、除雪協力企業のグループ化による応援体制を構築する。また、除雪情報については、SNSを活用した発信に加え、除雪の進捗状況を市ホームページで定期的に掲載していく。

そのほか、自治会等協力路線や通学路の歩道などの除雪について、市民の皆様が協力いただけるよう、自治会等を対象とした小型除雪機購入補助制度を新設した。



国土強靱化地域計画について



のじま ゆうき 議員  
**野嶋 祐記**  
志政会

質問

国土強靱化地域計画における雪害に関連する脆弱性の評価について、この冬から改善、実施できるものは何か。また、除雪へのGPS（位置情報システム）試験導入では、何を検証するのか。

回答

最重要点除雪路線における消雪設備の整備や除雪エリアの改善、除雪オペレーターの確保に取り組みほか、公共交通の運行状況等の速やかな情報提供、官民協働によるバスや鉄道の柔軟な運行に努める。また、国や県等の関係機関との緊密な情報共有や連携体制の構築により、除雪に関する情報を適切かつ迅速に発信していく。

GPSによる除雪車の位置や走行履歴の情報提供が、市民にとつて的確で有益なものか、除雪作業の効率化に寄与するものかなど、費用対効果を含め総合的に検証する。

障がい者雇用水増し問題について



かたや しゅういち 議員  
**片矢 修一**  
市民クラブ

質問

障がい者の法定雇用率が守られていないことが公表されたが、法定雇用率を満たす障がい者の雇用数と、不足する雇用数は。その法定雇用率はいつ達成できるのか。今後、障がい者枠を設けて採用すべきではないか。

回答

法定雇用率を満たす本市の障がい者雇用数は68人であるのに対し、算定障害者数は45人であり、23人が不足する。

今後は、非常勤職員への障がい者雇用を積極的に行うなど、法定雇用率の早期達成に努めていく。

障がい者の採用については、現在、消防士以外の全職種で募集を行っている。障がい者枠については、今後、別枠として募集採用することを検討していく。

水道民営化は許さず。上下水道料金値上げ見直しを



すずき しょうじゅ 議員  
**鈴木 正樹**  
日本共産党議員団

質問

水道は市民にとって命の水であり、もつてを目的とする民間の参入を許す民営化はやるべきではない。

また、昨年度末決算で水道事業会計では43億円、下水道事業会計では67億円の現金残高もあり、料金の値上げは必要なのではないか。

回答

水道事業は、極めて公共性の高い事業であり、民間に委ねることは考えていない。

人口減少や節水機器の普及により料金収入は減少傾向であるが、水道事業では、老朽化した水道施設の更新や耐震化が急務となっており、多額の財源が必要である。また、下水道事業においても、企業償還額の増加分を使用料で賄っていく必要があることなどから料金改定をお願いするものであり、見直しは考えていない。

本市の保育行政について



いけがみ まさのり 議員  
**池上 優徳**  
一真会

質問

幼児教育・保育無償化とともに、質の高い保育を維持するために保育士の処遇改善が求められており、本市独自事業として、保育士の処遇改善手当などの給料の上乗せ補助や保育士加配に対する単独補助を実施すべきと考えるが、所見は。

回答

保育士等の処遇改善は、質の高い保育を維持するために大変重要と考える。

本市独自の処遇改善措置として、平成28年度に市単独補助金の見直しを行い、経営の安定性を維持し職員への処遇改善につなげるため、子ども数の数や職員数に応じた補助や、年々増加傾向にある障がい児保育のための加配、0歳児などを受け入れる園への補助を実施している。

市税の増収策について



はった いちい 議員  
**八田 一以**  
一真会

質問

福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の企業誘致と古川排水路の治水の進展状況は。

石川県内の巨大商業者に対して、福井市内のロードサイド商業者等の商圏の維持・拡大のためにどのような施策を推進しているのか。

回答

福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の地域は土地利用規制があり、産業用地として利用するには厳しい状況だが、引き続き企業立地の実現に向けて取り組む。古川排水路の治水対策には荒川の改修が必須であるため、国や県に対し、荒川の改修促進について引き続き要望を行っていく。

市内の商業者への振興策については、オールフイ体制での消費喚起の取り組みに対して支援すること、市全体の商圏維持、拡大に努めていく。



しもばた けんじ  
**下畑 健二** 議員  
公明党

**文化会館整備事業について**

**質問**

福井市文化会館は施設の老朽化や耐震性不足が課題だが、修繕による対応では限界がある。今の状態ですらまで利用できるかと判断しているのか。このような状況から、いつまでに新文化会館建設の判断が必要と考えているのか。

**回答**

現文化会館の老朽化等の状況について調査を行うことを検討しており、その結果に基づき、現文化会館がいつまで利用できるかを判断する。

新文化会館建設については、財政再建計画期間中は文化会館などの大型公共事業について、原則として新たな施設整備を行わないこととしているため、財政再建計画の進捗を確認するほか、社会情勢や現文化会館の状況等を踏まえて協議していく。



ふじた さとし  
**藤田 諭** 議員  
志政会

**里地里山を守る取り組みについて**

**質問**

里地里山の良好な保全には、農林業などに関わるさまざまな人の働きかけを通じて環境が形成・維持されてきた。健全に維持することが、本市の重要な問題と考えるが、里地里山に対する本市の取り組み、考えは。

**回答**

里山を守るためには適切な整備が必要であるため、森林組合及び自伐林家と連携し、国や県からの支援を活用しながら森林整備を推進している。

今後は、平成31年4月に施行される森林経営管理法に基づき森林整備を実施し、間伐遅れの森林の解消を図るなど、健全な森林の育成に努める。このような取り組みにより、林業経営の安定化と魅力ある林業の実現につながることを期待される。



たなか よしのり  
**田中 義乃** 議員  
一真会

**ものづくり企業の支援について**

**質問**

福井市財政再建計画は、縮小均衡を目指すものではあるが、一方では「福井市の成長戦略」を構築し、稼げる産業の育成が急務となる。その中でも、これまで福井をリードしてきた「ものづくり」に対する支援の方針を伺う。

**回答**

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンに新製品開発支援や新事業創出支援を掲げており、圏域の強みを生かしながら新たな価値の創出を支援していく。

また、国の同意を受けた福井市導入促進基本計画による固定資産税の軽減や、国のものづくり・サービス補助金の優先的採択など、市内企業の設備投資を支援しており、今後も本市のものづくり企業の競争力強化に取り組む。



にしむら きみこ  
**西村 公子** 議員  
日本共産党議員団

**福井市の障がい者雇用差別的で不適切な求人改善を求める**

**質問**

障がい者雇用の不適切な求人について、「自力で通勤できる」や「介護者なしで業務遂行が可能」など、国と同様に福井市でも受験資格に規定しているのは、障がい者排除と批判されている。不適切な規定だと認め、謝罪、見直しする考えは。また、労働、雇用確保の環境整備や支援策の抜本改善は。

**回答**

受験資格にある「介助者なしに受験及び通勤・職務遂行が可能なこと」の文言については、現在の社会情勢に照らした場合、適当でないものと考えており、関係法令や社会情勢に沿ったものとなるよう、早期に改善する。また、バリアフリーなどの職場環境に考慮した人事異動も行うなど、障がいを持つ職員が継続して働くことができる取り組みを進めていく。



むらた こういち  
**村田 耕一** 議員  
市民クラブ

**中核市移行について**

**質問**

中核市移行により業務内容が変わる職場において、どのように県と連携するのか。また、困難な事業などが発生した場合、どのように対応するのか。

**回答**

本年度の県への重要要望では、移譲事務に関する「広域的な調整や情報交換」及び「県が開催する勉強会等への市職員の参加受入」を要望し、現在、その具体的な内容について、担当所属間での協議を始めている。

また、中核市移行後は、保健所や廃棄物対策など、特に専門性が高く、県との連携が必要な分野において、ノウハウを有する県職員の受け入れを予定している。

移譲事務を万全の体制で運営し、市民生活に支障が生じないように、今後さらに県との協議を進めていく。

観光政策について



みずしま ひであき  
**水島 秀晃** 議員  
志政会

質問

観光政策については、中核市移行に伴う連携中枢都市圏の形成、北陸新幹線福井開業、東京オリンピック、さらに大阪万博と、これからのチャンスはいかにしてものにするかが、その後の福井市の未来に大きく影響する。福井市のオリジナルをプロモートすることで、街にぎわいが生まれると考えるが、何か取り組んでいることはあるのか。

回答

御酒飲帳事業は、観光資源の一つである地酒を切り口とした取り組みであり、観光客が各市町観光案内所や参加酒蔵で配布するガイドブック「御酒飲帳」を片手に各酒蔵をめぐる、集めた銘酒ラベルやスタンプの数に応じて、抽選で笏谷石の酒器などがプレゼントされるものである。大手旅行雑誌の特集記事内でこの事業が紹介されるなど、成果につながっている。

食の産業化について



ほりえ ひろみ  
**堀江 廣海** 議員  
一真会

質問

食の産業化は、あらゆる制度を活用して推進する必要があるが、その中でも農林漁業と商工業の連携が重要と考える。農林水産部と商工労働部の間で、相互に連携を図るための枠組みとその実績について伺う。

回答

現在、農林水産部と商工労働部では、連携して農林水産物の生産、加工品の開発・PR、販路開拓を行っており、各種ブランド化事業に取り組んでいる。また、福井市フェアや台湾物産展などにおいては、農林水産物やその加工品を併せて出展、PRするなど、連携して取り組んでいる。今後は、福井の食をさらに魅力あるものとするため、農林水産業と商工業だけでなく、観光業との連携も含めたビジネスモデルの構築について研究していく。

本市の農業について



ふくの だいすけ  
**福野 大輔** 議員  
一真会

質問

米の生産コストを下げるには、圃場整備と農地の集積・集約化が必要である。本市の圃場整備や農地の集積・集約化について、現状をどのように分析しているのか。また、本市としての役割をどのように受け止めているのか。

回答

平成28年度末の圃場整備率は、1区画3千平米以上が83.2%、その内1万平米以上が9.9%であり、今後有効率の複合経営の転換が図れるよう、更なる圃場の大区画化と汎用化が必要である。また、平成29年度末の農地集積率は71.4%であり、目標の80%達成に向けて、中山間地域における集積が重要である。今後も人・農地プランによる地域内の話し合いを促し、農地中間管理機構への貸付を進め、農地の集積・集約化を図る。

新ごみ処理施設整備基本計画(案)について



いずみ かずや  
**泉 和弥** 議員  
一真会

質問

新ごみ処理施設建設予定地周辺は、将来の余熱利用発電を含め健康運動施設、農業研究施設、福井・福井北ICとの交通便利性が良いといった、他地域にない強みがある。働く場の創出、再生可能エネルギーの有効活用、農産物のブランド化や6次産業化の促進、さらには交流人口の拡大にもつながる次世代園芸施設や農産物加工施設などを民間企業誘致も含め検討してはどうか。

回答

新ごみ処理施設の余熱利用は、市民の意見を踏まえ効率的で有効な使い方を検討し、地域の強みや特色を活かす取り組みを関係部局と連携し検討する。また、本市への民間企業の新たな進出は、市民の働く場の創出と地域経済の活性化に大いに貢献することから、立地を支援していく。

いじめ、不登校児童・生徒への対応について



よしだ きんいち  
**吉田 琴一** 議員  
市民クラブ

質問

昨年度の本市のいじめの認知件数及びその対策は。また、チャレンジ教室を嶺北地域の一体的な施設として利用拡大できないか。

回答

平成29年度の本市でのいじめの認知件数は、小・中学校合わせて386件であり、内容や程度に関わらず、教職員全体で児童生徒を見守る態勢づくりに努め、定期的に教育相談やアンケートを実施している。また、教育活動全般にわたって、思いやりの心や人権意識の醸成を図るほか、困ったことはすぐに相談するよう指導するなど、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めている。在籍校復帰の支援は児童生徒が住む市町の適応指導教室に通うことが原則だが、当該教育委員会から要請があれば本市チャレンジ教室の利用の協議は可能と考える。



ほりかわ ひでき  
**堀川 秀樹** 議員  
市民クラブ

**ドームシアターの活用策について**

**質問**

ドームシアターの圧倒的臨場感と音響の迫力を駆使してのeスポーツ大会は、ドームシアターがeスポーツのメッカとなることにつながるかと考えるが、開催しはどうか。

また、プロの占い師による星占いの開催は多くの集客が見込めると考える。現在、平日の夜はほとんど閉館しているため、利用客増が見込めると考えるがどうか。

**回答**

10月20日にハピリンホールにて「第1回ふくいeスポーツ野球大会」が開催され盛況だったと聞いている。eスポーツ大会や星占いなど、ドームシアターを有効に活用できる事業は、指定管理者が行う自主事業や貸し館での利用として実施できることから、イベント企画事業者や団体等へ積極的にPRしていく。



ごとう ひろゆき  
**後藤 裕幸** 議員  
志政会

**下水道の取り組みについて**

**質問**

現在、実施している水管の布設替えや耐震化などの老朽化対策は、あとどれくらいの管路延長で実施されるのか。

**回答**

また、今後の整備計画は、公共下水道長寿命化計画では約14kmの対策を行うこととしており、平成32年度末までに残る約5kmの対策を実施する。しかし、耐用年数を超える管路の延長は今後も増加していくため、下水道施設全体の状況を把握しながら、予防保全と事後保全を実施するためのストックマネジメント計画を現在策定中である。下水道整備については、平成32年度の人口普及率100%を目指して進めてきたが、国庫補助が縮小されたため、現在は平成36年度までを目標として整備を進めている。



たきなみ しげる  
**瀧波 滋** 議員  
志政会

**投票率を上げる取り組みについて**

**質問**

平成31年4月には統一地方選挙が執行される見込みであり、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられてから初めての市議会議員選挙となるが、若者や投票率向上に向けた取り組みについて伺う。

**回答**

若者に対する取り組みとして、市内の高校、特別支援学校、大学での講座等のほか、公民館で行われる新成人のつどいにおいて選挙の講話を実施し、若者の政治常識の向上を図っている。また、投票率を向上させるため、従来は公共施設のみであった期日前投票所を商業施設6カ所と大学2カ所にも開設し、全体で15カ所としたほか、投票所のバリアフリーや混雑解消にも取り組み、投票の利便性向上を図っている。



こんどう みのる  
**近藤 寛** 議員  
無所属（青空の会）

**常勤の特別職職員の手当改正（賃上げ）について**

**質問**

今回の常勤の特別職職員の期末手当改正（賃上げ）に憤りを感じている。昨年度、本市は赤字団体となり、今年度は職員給与を初めとする人件費約5億円と事業費約5億円を削減することとなった。このような中、常勤の特別職の期末手当は上げるべきでないと考え、所見は。

**回答**

本市では、これまで人事院勧告や国、県の動向を見ながら、一般職員とのバランスを考慮しつつ特別職においても改定を行ってきた。今回の改定についても、国及び県の対応に準拠する中で対応していきたいと考えている。



いとう よういち  
**伊藤 洋一** 議員  
志政会

**広域交流人口政策と地域経済活性化について**

**質問**

大阪万博2025の開催が決定した。交流人口の増加と経済波及効果が見込まれるが、本市の所見は。

また、2022年度には北陸新幹線敦賀駅開業が予定されているが、大阪方面への利便性確保についてはどう考えているのか。

**回答**

大阪万博の経済波及効果は約2兆円とも言われており、開催による活気が全国に広がることを期待している。万博を訪れる方々には少し足を延ばして本市にも立ち寄っていただき、本市の魅力を満喫していただきたいと考えている。北陸新幹線敦賀駅開業後は、乗り換えが必要となるため、特急の運行確保を要望している。今後も県などと連携し、大阪方面のアクセス向上について国やJRへ要望していく。

# 予算特別委員会

各会派における  
主な質疑内容を  
紹介します。

## 一真会

皆川 信正 今村 辰和  
奥島 光晴 泉 和弥  
田中 義乃 池上 優徳

### ○バス運行事業

**問** 地域の足であるバスを守るには、学生に利用してもらうことを検討するなど、抜本的な見直しが必要ではないか。

**答** 地域コミュニティバスは地域住民のニーズに応じた路線設定を行っており、安全確保や、学校周辺での送迎の混雑解消にもつながることから、小・中学生の利用に応じたダイヤ設定の検討も一つの方策と考えられる。

今後、人口減少社会の到来や、高齢化の対策として、路線バスの役割、ニーズは多様化すると考えられることから、研究していく。

### ○手話言語条例

**問** 福井市が制定する予定の条例と、県の手話言語条例の違いはどのようなものなのか。

**答** 県の手話言語条例は、手話が言語であるとの認識を共有し、共生社会の実現を目指して手話の普及と環境の整備に取り組むものである。これに対し、本市が制定を予定している条例は、共生社会の実現のため、まず、障がい者が抱えている情報のバリアを取り除くことが重要と考え、手話が言語であるとの共通認識のもと、手話言語を含むコミュニケーション手段の利用促進に関する内容としている。

**要望** 障がいのある方を網羅した条例を制定しようとしているが、関係団体の代表や事務局の担当者からも意見を聞いて進めてほしい。

## 志政会

加藤 貞信 石丸 浜夫  
野嶋 祐記 水島 秀晃

### ○地域産業振興事業

**問** 「福井発！ビジネスプランコンテスト」から実現したビジネスプランはあるのか。

**答** これまでに事業化や商品化されたビジネスプランは25件あり、このうち平成28年度のグランプリである、県産品で作った防災グッズ「福がこい」は、昨年度テスト販売を行い、現在、クラウドファンディングによって事業化のための資金を集めている。

なお、本市のビジネスプランコンテストは、国が開催する全国創業スクール選手権の連携コンテストとして位置づけられており、この「福がこい」が、平成30年2月、中小企業庁長官賞を獲得し、今後さらなる成長が期待される。

## 市民クラブ

堀川 秀樹 中村 綾菜  
片矢 修一

### ○アクティブスペース管理事業

**問** JRの高架下を活用した屋根つきのランニングロードの整備を求める意見があるが、実現の可能性はあるのか。

**答** 福井県並行在来線対策協議会では具体的な議論は始まっていないが、今後このようなニーズがあることも念頭に置きながら、高架下の有効な活用について研究し、また、県にも要望していきたい。

**要望** 高架下については幅広い活用策が出てくると考えられるが、ぜひ前向きに検討してほしい。

## 公明党

島川 由美子

### ○福井市防災センター

**問** ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン(案)に防災センター・展示・体験施設環境整備事業が掲げられており、圏域の全市町が対象となっているが、どのような取り組みを考えているのか。

**答** 災害時に、住民自らが少しでも被害軽減につながる備えや行動を行えるよう、

嶺北圏域全体における防災意識の向上を図るため、福井市防災センターを嶺北圏域における防火・防災に関する知識や災害時の行動を学ぶ場と位置づけ、展示施設や体験施設の一部について改修する事業である。

**要望** 近年は、災害の傾向が大きく変わってきているため、実効性のある体験ができる施設にしてほしい。

## 日本共産党議員団

鈴木 正樹

### ○新ごみ処理施設整備基本計画とごみ処理の問題

**問** リサイクル推進のため、身近な資源回収拠点を増やしてはどうか。

**答** 身近な資源ごみ回収拠点の設置は、ごみの減量化を進める上でも重要と考ええる。現在、市が設置する資源回収拠点「わけるば」などの周知や啓発を行うとともに、回収拠点の拡充に向け、民間事業者との協議や、新たな市有施設での設置に向けて取り組んでいきたい。

(12月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
第 86 号議案	平成 29 年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	11月27日 認定	●
第 87 号議案	平成 29 年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	// 原案可決及び認定	●
第 88 号議案	平成 29 年度こしの国広域事務組合 C A T V 事業会計決算の認定について	// 認定	●
第 89 号議案	平成 29 年度福井市ガス事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	// 原案可決及び認定	●
第 90 号議案	平成 29 年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	// //	●
第 94 号議案	福井市外部監査契約に基づく監査に関する条例の制定について	12月18日 原案可決	●
第 95 号議案	福井市民生委員定数条例の制定について	// //	●
第 96 号議案	福井市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 97 号議案	福井市社会福祉審議会条例の制定について	// //	●
第 98 号議案	福井市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	// //	●
第 99 号議案	福井市指定障害者支援施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	// //	●
第 100 号議案	福井市障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 101 号議案	福井市障害者支援施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 102 号議案	福井市福祉ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 103 号議案	福井市地域活動支援センターの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 104 号議案	福井市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 105 号議案	福井市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 106 号議案	福井市特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 107 号議案	福井市指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	// //	●
第 108 号議案	福井市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 109 号議案	福井市介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 110 号議案	福井市指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 111 号議案	福井市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	// //	●
第 112 号議案	福井市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	// //	●
第 113 号議案	福井市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 114 号議案	福井市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	// //	●
第 115 号議案	福井市認定こども園の認定の要件を定める条例の制定について	// //	●
第 116 号議案	福井市保健所設置条例の制定について	// //	●
第 117 号議案	福井市保健所運営協議会条例の制定について	// //	●
第 118 号議案	福井市保健所事務手数料条例の制定について	// //	●
第 119 号議案	福井市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置に関する基準等を定める条例の制定について	// //	●
第 120 号議案	福井市理容の業を行う場合の衛生措置等を定める条例の制定について	// //	●
第 121 号議案	福井市興行場の設置場所及び構造設備並びに衛生措置に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 122 号議案	福井市旅館業の宿泊者の衛生に必要な措置に関する基準等を定める条例の制定について	// //	●
第 123 号議案	福井市公衆浴場の設置場所及び衛生等に関する基準を定める条例の制定について	// //	●
第 124 号議案	福井市化製場等に関する法律施行条例の制定について	// //	●
第 125 号議案	福井市医療法施行条例の制定について	// //	●
第 126 号議案	福井市クリーニング業を営む者が講ずべき措置を定める条例の制定について	// //	●
第 127 号議案	福井市と畜場法施行条例の制定について	// //	●
第 128 号議案	福井市美容の業を行う場合の衛生措置等を定める条例の制定について	// //	●
第 129 号議案	福井市浄化槽の保守点検業者の登録に関する条例の制定について	// //	●
第 130 号議案	福井市感染症診査協議会条例の制定について	// //	●
第 131 号議案	福井市屋外広告物条例の制定について	// //	●
第 132 号議案	福井市部設置条例の一部改正について	// //	●
第 133 号議案	福井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	// //	●
第 134 号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	// //	●
第 135 号議案	福井市特別会計条例の一部改正について	// //	●
第 136 号議案	平成 30 年度福井市一般会計補正予算	// //	●
第 137 号議案	福井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	// //	●



# 4月1日 福井市は中核市に移行します

市民に最も近い基礎自治体としてその自主性や自立性を高めることで、さらなる市民サービスの向上と人口減少社会や地域間競争に打ち勝つ活力ある地域づくりを実現するため、本市は平成31年4月1日に中核市に移行することになりました。一方で、市民の声の中には明確な移行理由が解りにくいとの意見が多数あることも事実です。

そのため市では、①行政サービスの一元化と迅速化 ②市民サービスの充実 ③市民の健康や財産を守る体制づくり ④特色あるまちづくりの推進 ⑤県都としての役割を果たすための機能強化 以上5つの分野別に項目を挙げ、中核市移行の主な効果として広報することで理解を求めています。

私たち福井市議会としても、同日に中核市移行となる山形市・甲府市・寝屋川市の動向を注視し、魅力ある中核市づくりに取り組んでいかなければならないと考えています。



## 議会日誌 (平成30年10～12月)

10月23日	決算特別委員会 (～24日)
25日	全国競輪主催地議会議長会役員会、第123回臨時総会 (大阪市)
29日	北信越市議会議長会理事会、評議員会 (富山市)
30日	全国広域連携市議会協議会正副会長・監事・相談役会議、理事会 (東京都)
11月1日	議会運営委員会
2日	第45回福井県自治会館組合議会定例会 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会
7日	全国市議会議長会第213回理事会、第105回評議員会 (東京都)
8日	第30回都道府県庁所在都市議長会定期総会 (福井市)
12日	定例福井県市町総合事務組合議会
19日	議員全員協議会、議会運営委員会
20日	新幹線・並行在来線等対策特別委員会
29日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第173回定例会 (あわら市)

## 12月定例会

11月27日	本会議
28日	議会運営委員会
12月3日	本会議 (一般質問)
4日	本会議 (一般質問)
5日	本会議 (一般質問)
6日	総務委員会、教育民生委員会
7日	建設委員会、経済企業委員会
12日	予算特別委員会
13日	予算特別委員会
14日	議会運営委員会
18日	本会議



## 編集後記

今号も、市議会だよりをご覧いただきまして、ありがとうございました。

今回の特集記事では、特別委員会、視察報告に加え、子育て世代と議員とのクロストークを企画しました。今後も市民の皆様に、議会をより身近に感じていただけるような紙面づくりに努めていきたいと思っております。(堀川・中村)

## 請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

## お知らせ

### 選挙違反に問われる「議員の寄附」禁止にご理解を

議員の寄附(お祝い等)については、出す側ももらう側も、公職選挙法違反に問われます。市議会では改めて法令遵守の徹底を申し合わせましたので、ご理解をお願い申し上げます。

## 傍聴してみませんか

### 傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

- 本会議 定員97人 うち車イス6席
- 常任委員会 総務、建設、教育民生、経済企業
- 議会運営委員会
- 特別委員会 予算
- 議員全員協議会

## 次回は3月定例会です

日程はホームページに掲載します

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506